『XAFS の基礎と応用』第 2 刷（2018 年 7 月 20 日発行）正誤表

頁	行	誤	正
86	式(3.1.19)	$R\text{-factor}=\sqrt{\dfrac{\sum_i k^n\left(\chi_i^{\text{data}}(k)-\chi_i^{\text{fit}}(k,[\alpha])\right)^2}{\sum_i\left(k^n\chi_i^{\text{data}}(k)\right)^2}}$	$R\text{-factor}=\sqrt{\dfrac{\sum_i\left[k^n\left\{\chi_i^{\text{data}}(k)-\chi_i^{\text{fit}}(k,[\alpha])\right\}\right]^2}{\sum_i\left\{k^n\chi_i^{\text{data}}(k)\right\}^2}}$ (カッコの追加)
88	3 行目	$\mathfrak{R}=R_B/R_A$ は,	$\mathfrak{R}=R_A/R_B$ は,
	式(3.1.23)の 9～10 行下	62%近い確率で O の方がよいといえるようになる．さらに k の範囲が 3～17 Å^{-1} となると $M-P=5$ となり，67%の確率で O の方がよいといえる．	92%近い確率で O の方がよいといえるようになる．さらに k の範囲が 3～17 Å^{-1} となると $M-P=5$ となり，98%の確率で O の方がよいといえる．
	下から 4 行目	この場合には， $\mathfrak{R}=R_B/R_A=3$ である．	この場合には， $\mathfrak{R}=R_A/R_B=3$ である．
	最下行	なり，99.4%の確率で	なり，94%の確率で
89	3 行目	ただし，$k=3$～15 Å^{-1}，$r=1$～2 Å^{-1} で，	ただし，$k=3$～15 Å^{-1}，$r=1$～2 Å で，
	6 行目	そのときには 42%の確率で違っている	そのときには 58%の確率で違っている

［2018 年 12 月 10 日作成］